

# 保土谷化学グループのイノベーションの歴史

1916年、保土谷化学は日本で初めて電解法苛性ソーダを製造する企業として誕生しました。100年超の間、長い歴史により培われた技術を基に、時代のニーズに応え、絶えざる革新を通じて、染料から農業、医薬中間体、ウレタン樹脂材料、有機EL材料といった、暮らしと社会を支えるさまざまな製品を生み出し続けてまいりました。

保土谷化学グループは、次の100年も、価値ある製品・サービスの創出を通じて、持続可能な社会の発展に貢献する企業として、「SPEED25/30」を始動し、その歩みを続けてまいります。

**1915年**  
現在の神奈川県横浜市保土ヶ谷区に「程谷曹達工場」設立

**1916年**  
東洋曹達株式会社（現郡山工場）設立

**1939年**  
鶴見工場（現横浜工場）設立  
「保土谷化学工業株式会社」に社名変更

**1967年**  
ニューヨーク駐在事務所開設（1986年現地法人化）

**1971年**  
南陽工場設立

**1978年**  
保土谷建材工業株式会社設立（2017年保土谷建材株式会社へ商号変更）

**1991年**  
筑波研究所設立

**1993年**  
保土谷コントラクトラボ株式会社設立

**1994年**  
保土谷アグロス株式会社設立（2011年保土谷アグロテック株式会社へ商号変更）

**1997年**  
保土谷ロジスティックス株式会社設立  
上海駐在事務所開設（2014年現地法人化）

**2006年**  
日本ポリウレタン株式会社の一部株式を譲渡（2012年全株式譲渡）

**2008年**  
韓国駐在事務所開設（2011年現地法人化）  
保土谷UPL株式会社設立

**2010年**  
デュッセルドルフ駐在事務所開設（2018年現地法人化）  
台北駐在事務所開設  
SFC CO., LTD. (韓国)の株式を取得

**2015年**  
監査等委員会設置会社に移行

**2016年 創立100周年**

**2022年**  
プライム市場移行

※1976年までは個別業績、1977年からは連結業績で表示しております。  
※1946～1950年は戦後処理のため不明となっております。



## 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020

### 開発した製品

<p><b>1915年</b> 電解法苛性ソーダの製造を開始（日本初）</p>	<p><b>1926年</b> ホスゲンの製造を開始</p> <p><b>1927年</b> 染料の製造を開始</p>	<p><b>1950年</b> 農業の製造を開始</p>	<p><b>1963年</b> ウレタン原料 (PTG) の製造を開始</p> <p><b>1966年</b> 過酸化水素の製造を開始</p> <p><b>1967年</b> 日本初のウレタン防水材の製造を開始</p>	<p><b>1978年</b> トナー用電荷制御剤 (CCA) の製造を開始</p>	<p><b>1984年</b> 有機光導電体材料 (CTM) の製造を開始</p>	<p><b>2001年</b> 有機EL材料・正孔輸送材 (HTM) の製造を開始</p>	<p><b>2004年</b> 有機EL材料・電子輸送材 (ETM) を開発</p>	<p><b>2017年</b> 過酢酸製剤「オキシアタック」(食品向け除菌剤)の製造を開始 ウレタン防水材「凄極膜」の製造を開始</p> <p><b>2020年</b> PCR診断キット用材料の量産を開始</p>
---	---	----------------------------------	---	--	---	---	--	--

### 社会のニーズ

<p>化学産業の輸入依存からの脱却 創業者 磯村 音介</p> <p><b>1914年</b> 第一次世界大戦 <b>1923年</b> 関東大震災</p>	<p>社会の工業化・近代化とともに総合化学メーカーへ</p> <p><b>1939年</b> 第二次世界大戦</p>	<p>戦後復興を後押しするさまざまな製品開発</p> <p><b>1950年代</b> 戦後復興 <b>1960年代</b> 高度経済成長 <b>1973年</b> オイルショック</p>	<p>エレクトロニクス時代到来に向けて電子素材関連へと事業分野を拡大</p> <p><b>1985年</b> ブラザ合意 <b>1991年</b> バブル崩壊</p>	<p>環境負荷の低い新素材・新製品で環境調和型社会を創造</p> <p><b>2008年</b> リーマンショック <b>2011年</b> 東日本大震災 <b>2020年</b> 新型コロナウイルス感染症流行</p>
--	--	--	---	---

### 技術のルーツと変遷

